

【巻頭言】

学友会会長に就任して

会長 錦 成郎(54 回生)

2025 年総会にて学友会会長としてご承認いただきました 54 回生 錦 成郎です。これまでの 2 年間に引き続いて、理事会・地方支部のお力を拝借しながら歴史ある学友会を盛り立てていけるよう努力したいと考えています。ここに紙面をお借りしてご挨拶を申し上げます。

さて、本学友会は専門学校から短期大学、大学へ改組しながら歩むなかで、約 5,000 名の卒業生を輩出しています。本会は 1928 年の 3 月に「島津レントゲン技術講習所学友会」として発会しましたが、最初から同窓生だけでなく在 student や教員も一緒になった斬新な組織として運営されてきました。この組織構成こそが我々が誇りに思い、包み込まれるような暖かい校風を育む礎になっているように思います。従って就職懇談会などで在 student と接する場面でも打ち解けるまでにあまり時間を要しません。この独特の雰囲気大切に、皆さんがこれまで以上に興味を持って参加したいと思ってもらえる学友会として成長できるよう努力したいと考えています。

学友会には 24 支部がありますが、支部の活動も徐々に変化しているようで、ご苦労されているとお聞きます。

ただ、学友会員に最も近いのは支部であり参加したいと思える活動を模索しつつ、今後ともよろしくお願ひします。私もご案内をいただいた支部総会にはできるだけ参加しますのでよろしくお願ひいたします。

2027 年 9 月 19 日(日)には、本校創立 100 周年記念式典が計画されています。学友会もこの事業に参画し、ともに 100 周年を盛大にお祝ひしたいと考えております。100 周年の記念事業は、在 student と学友(卒業生)だけでなく、これまでご尽力いただいた教職員の先生方とも、喜びを分かち合う日にできればと思ひを膨らませています。翌日は祝日ですので、久しぶりに京都で学友と心置きなく盛り上がり楽しい時間を共有してください。そのためにも、この 100 周年記念事業の情報拡散を希望します。早い段階から皆さんのスケジュール調整ができれば、盛り上がること間違いなしだと思ひています。

最後になりましたが、学友会はこれから世代交代を促進する必要があり、専門学校から短大・大学へとバトンをつなぐためにも新陳代謝を促進する必要があります。運営の中心が次の世代へと移行しながら、上手に皆が周囲から支える構造に変化することが、学友会の発展につながるポイントだと思ひます。この課題は支部も同様であり、早く次世代の視点を取り入れ、魅力ある事業に組み立て直すことを急がなければなりません。多くの会員の皆様のご参加を、心からお待ちしています。

今後ともよろしくお願ひいたします。



以上